

金属成形技術の広がり



引抜・押出加工技術は、その独特の加工性能から多様な製品の製造に利用されてきた。さまざまな金属や合金種からなる鋳造材、圧延材などの中間素材や粉末材を用いて、各種鋼細線や高機能複合電線材などの汎用製品や極細・極薄などの極限化製品が連続引抜や連続押出法で効率的に製造されてきた。また、難加工性材料や複合材料製品の製造に、加工性能に優れた押出加工法が積極的に利用されてきており、1990年代には、自動車部品を対象とした複合熱間押出などのネットシェイプ製品押出加工技術で新たな展開をみせてきている。

特許からみた引抜・押出による金属成形技術の広がり

